

通訳ボランティアスキルアップ研修(医療・教育・災害)を開催します!

参加者募集!

通訳ボランティア登録者や登録希望者を対象とした医療・教育・災害時の通訳研修を開催します。教育や災害をテーマとしたスキルアップ研修は、今回初めて行うものです。

香川県の外国人登録者数は、約9,000人(平成19年度)で、県内人口の1%近くを占めており、その数は年々増加しています。そこで、財団法人香川県国際交流協会では、日本語の困難な在県外国人をサポートし、県民等の国際理解を促進するため、平成18年4月から通訳等ボランティア派遣事業を行っており、現在、通訳等ボランティアのうち、通訳ボランティア登録者数は約250名です。

今回は、特に専門的な知識や心構えが必要となる医療や教育現場での通訳、災害時の通訳について、通訳を行なう際の留意点や基礎的な知識・技術などを学んでいただくため、通訳等ボランティア登録者や登録を希望される方などを対象に、スキルアップ研修を行います。この研修は、実際の場面を想定したロールプレイなども行う実践研修で、参加は無料です。

協会では、現在も随時、ボランティアとして活動していただける方を募集中ですので、奮って応募いただき、この機会にぜひ参加ください。

1 医療通訳・教育通訳ボランティア研修

- (1) 日 時 平成21年3月1日(日) 9時40分～17時00分
(2) 講 師 多文化共生センターきょうと理事長 重野 亜久里氏
〃 保健医療事業 医療通訳コーディネーター・看護師・保健師 高嶋 愛里氏
(特活) 多言語センターFACIL 理事長、ワールドキッズコミュニティ代表 吉富志津代

(3) 内 容

【全大会】9時40分～9時45分

- 9:40～9:45 開会・主催者挨拶
9:45～10:00 (財)香川県国際交流協会の通訳ボランティア派遣の流れについて
10:00～12:00 医療通訳・教育通訳ボランティア研修
講師:多文化共生センター京都代表 重野亜久里氏
〃 保健医療事業 医療通訳コーディネーター・看護師・保健師 高嶋 愛里氏
医療通訳・教育通訳とは・・・、アイスブレイク、在日外国人の現状、通訳技術(メモ取り)

【分科会】13時00分～17時00分

- 第1分科会 医療通訳実践研修
講師:多文化共生センター京都代表 重野亜久里氏
〃 保健医療事業 医療通訳コーディネーター・看護師・保健師 高嶋 愛里氏
13:00～14:30 医療現場見ることばのサポートの必要性、受診の流れ・DVD
医療通訳の心得/姿勢
14:40～15:10 医療制度と医療知識、通訳ロールプレイ(受付手続き・問診・検査・診察室等)
15:10～17:00 振り返りとまとめ
□第2分科会 教育通訳研修
講師:多言語センターFACIL代表 吉富志津代氏
13:10～14:45 講義『地域の多文化な子どもたち～現状を知るために～』
15:00～15:30 外国にルーツをもつ子どものビデオ作品/紹介番組の鑑賞と解説
15:30～17:00 ワークショップ
(通訳場面想定、立場、通訳時に想定される単語/質問、知っておくとよい制度)

2 災害時通訳ボランティア実践研修

- (1) 日 時 平成21年3月7日(土) 10時00分～16時30分
(2) 講 師 多文化共生センター大阪代表 田村太郎 氏
(3) 内 容
10:00～12:00 災害時の外国人支援についての講義と質疑

- ◆場 所 アイパル香川（香川国際交流会館） 3階会議室
高松市番町1丁目11-63（高松市中央公園内 高松市役所向かい）
- ◆主 催 （財）香川県国際交流協会
- ◆共 催 香川県

- ◆対象、募集人員 通訳等ボランティア登録者又は登録を希望される方等 各40名程度
※ロールプレイは英語・中国語を中心で行います。その他の言語やその他のボランティアとしてご登録の方は見学となります。
※参加希望者数が多数の場合は調整させて頂く場合があります。

- ◆受講料 無料（ただし、事前に電話等での申込みが必要です。）

- ◆申込方法 電話、FAXで、またはアイパル香川2階事務室まで直接お申し込みください。

TEL 087-837-5908 FAX 087-837-5903

（受付時間 9:00～18:00）

なお、土曜日、日曜日と祝日は受け付けませんが、月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）は休みです。

【講師紹介】

■ 重野 亜久里（しげの あぐり）

特定非営利活動法人多文化共生センターきょうと理事長。1999年より多文化共生センター・きょうとに勤務。中国系コミュニティを支援するプロジェクトマネージャーとして地域住民と共に、多文化共生の地域づくりに取り組む。2003年より、病院へ通訳を派遣する「医療通訳派遣システムモデル事業」を担当。2006年7月より「特活）多文化共生センターきょうと」理事長に就任。現在はセンターの保健医療事業全般のマネジメントも担当。

■ 高嶋 愛里（たかしま あいり）

特定非営利活動法人多文化共生センターきょうと保健医療事業 医療通訳コーディネーター・看護師・保健師。高校、大学生時英語、スペイン語圏への留学経験有り、看護学修士課程卒業。学生時代より在日外国人に関心を持ち多言語医療電話相談・無料相談会の活動を経て、現在医療通訳コーディネーターとして活動中。

■ 吉富 志津代（よしとみ しづよ）

特定非営利活動法人多言語センターFACIL 理事長、ワールドキッズコミュニティ代表、多文化プロキューブ・グループ統轄。南米の領事館勤務などを経て、震災後はコミュニティ放送局の立ち上げをきっかけに、多言語環境促進や青少年育成を切り口に、多様性の重視とマイノリティの発信にこだわり、外国人自助組織との市民活動に従事する。その他の役職は、FM わいわい多言語番組プロデューサー、NPO 法人たかとりコミュニティセンター常務理事、兵庫県生涯学習審議委員、ひょうご市民団体協議会共同代表、（財）兵庫県国際交流協会 運営委員、国立民族学博物館共同研究員（2003年～2005年）、関西学院大学非常勤講師など。

■ 田村 太郎（たむら たろう）

兵庫県生まれ。在日フィリピン人向けのレンタルビデオ店勤務等を経て、1995年1月阪神大震災発生直後、「外国人地震情報センター」を設立。同年10月、「多文化共生センター」への組織変更に伴い事務局長。04年3月まで同センター代表を勤めた。多文化共生センターは06年4月から5つの地域センターに分割し現在は大阪の代表理事。

現職の他、甲南女子大学や大阪市立大学で非常勤講師を勤めるかたわら、全国市町村国際文化研修所において、多文化共生マネージャー養成コースや、地域に住む外国人を災害弱者にしないための方策を考える「災害時対応コース」でコーディネーターを担当。

（財）香川県国際交流協会

高松市番町1丁目11-63 アイパル香川内（受付時間 9:00～18:00）

電話 087-837-5908 FAX 087-837-5903

URL: <http://www.i-pal.or.jp/> e-mail: i-pal@i-pal.or.jp